

議 会 だ よ り 入 善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 176

2016年1月27日



じゅわ〜と
にゅうせん

目 次

さわやかに新年を駆けぬける！

入善統合保育所整備に着手(補正予算).....	2 P
平成26年度決算を認定(決算特別委員会レポート).....	3 P
深層水仕込カキをPR(常任委員会レポート).....	4 P
町政を問う(代表・一般質問).....	6 P
入善ふるさと七夕祭り(入善の祭り).....	16 P

12月
定例会

入善統合保育所整備に着手 基本設計委託料を計上

12月議会は、2日から17日までの16日間開会し、町長から提案のあった平成27年度補正予算2件、条例の制定など議案4件、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。また、10日、11日に代表・一般質問が行われ、9人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。

補正予算の概要

一般会計の補正予算は、入善統合保育所整備に係る基本設計委託料や、住まい・まちづくり推進事業補助金の増額などである。一般会計で3270万円を追加し、総額110億1987万円とした。

後期高齢者医療特別会計では、過年度保険料精算に係る負担金の増額など296万円を追加した。

◎主な事業

- 建築総務事務費 870万円
空き家バンク活用促進事業補助金や安定住促進事業補助金への申請件数増加に伴い、補助金を増額する。
- 保育所整備事業費 770万円
入善統合保育所整備に係る基本設計委託料を計上する。
- 公共交通運輸対策事業費 335万円
入善新幹線ライナーに係る運行委託料の増額や運行補助金を計上する。

- コミュニティ施設整備事業費 320万円
飯野コミュニティ防災センター、横山地区交流防災センターへの太陽光発電設備の整備に係る設計委託料を計上する。
- 海洋深層水活用推進事業費 50万円
にゅーぜん深層水かき祭り開催に対する補助金を計上する。

議員提出議案

入善町議会会議規則の一部改正
女性議員の出産時の欠席届けについて新たに規定する。「つえ」を議場への持ち込み禁止物から除外する。
高齢者の交通事故の防止に関する決議
高齢者の交通死亡事故を防止する実効性のある取組みを早急かつ強力に推進し、安全で安心な入善町の実現を期する。

主な条例の制定・改正

入善町個人番号の利用に関する条例の制定
個人番号の利用による情報連携を適正かつ

円滑に行うため、利用する事務及び特定個人情報等を定める。
入善町地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定
地域拠点の強化・拡充を行う事業者に対し、固定資産税を軽減する。

討 論

反対討論

松田 俊弘 議員

今回の条例は、町民のマイナンバーを町の事務に利用するためのものだ。

この制度の問題は個人情報の流出だ。アメリカでは、サイバー攻撃で個人情報が数千万件単位で流出し、約49億円の税金の還付金が詐取されたと報じられている。

国内でも、ウィルス攻撃で125万件の年金番号が流出した。最近では、堺市の全有権者68万人分の個人情報が入力ネットワーク上に流れた。

悪意を持った情報流出は止められない。大量の個人情報扱うマイナンバー制度はやめるべきだ。

平成26年度決算認定

一般会計については賛成多数で認定、6特別会計は賛成全員で認定された。

討論では、松田俊弘議員が、一般会計について反対討論を行った。

平成26年度決算を認定

決算特別委員会レポート

審査の経過

9月17日から、平成26年度の一般会計および特別会計の審査を行った。

会計管理者をはじめ、担当課長の出席のもと、決算資料に基づき説明を受け、質疑を行うなど6回にわたる委員会を開催した。

10月15日には舟見山自然公園線をはじめ、入善漁港、園家山キャンプ場、駅南住宅集会場など6カ所について現地を視察した。

その後、10月26日に総括質疑、討論、採決を行い、決算特別委員会の審査を終了した。

付託案件はすべて認定

一般会計の決算認定については賛成多数、国民健康保険や下水道などの特別会計6議案については、賛成全員で認定すべきと決した。

主な審査意見

健全財政の堅持を評価

平成26年度の景気は、緩やかな回復基調が続いていたものの、地方財政を取り巻く環境については、依然として不透明であった。

このような厳しい現況の中において、町では経費の節減や合理化に積極的に取組み、健全財政を堅持している。財政運営の目安である財政力指数は若干向上し、経常収支比率については前年とほぼ同じく弾力性のある財政構造を堅持している。

さらに実質公債費比率は、前年度を下回るなど、依然として県内トップクラスの健全化が堅持されており、大いに評価するものである。

コミュニケーションを大切に

町職員の育成が今後

の大きな課題だ。「報告・連絡・相談」

は、お互いの信頼関係にも関わることである。今後もコミュニケーションをさらに大切にし、より良い行政サービスにつなげていくことが大切だ。

保育士の確保に一層の努力を

育児休業に伴う保育所退所問題が解消されたことは評価する。保育の充実には、保育士の確保や待遇改善が重要である。

引き続き努力を求め

防災意識の向上を

東日本大震災後に高まった防災意識も徐々に低下しつつある。

現在養成している防災士などを有効に活用し、自主防災組織の運営方法や防災訓練のあり方など再点検すべきである。

小水力発電

今後の方向性は

エネルギー関連施策については、今年度で小水力発電の実証実験期間が終了する。

実験結果の公表に加え、これまでの成果や問題点を分析し、今後の見通しや方向性について検討を望む。

公共施設の適正な維持管理を

公共施設において、井戸水の濁りなどが発生している。

しっかりと原因を把握するとともに、早期に対応すべきだ。また、各施設の定期的な点検を心がけ、適正な維持管理を望む。



水の小径の小水力発電

レポート

総務 常任委員会

20〜30人の子どもが
町外の保育所へ

Q 保育所運営費負担金として国から212万円助成されている。その事業内容は。

A 町外の保育所へ広域入所している子どもたちへの国庫負担金だ。例年20〜30人程度が町外へ広域入所している。



LED防犯灯

選挙人名簿改修費に
国が2分の1補助

Q 選挙権年齢が18歳に引き下げられることから、選挙人名簿調整システム改修費41万円が国から補助されている。

国の補助率が2分の1だが、なぜ100%負担しないのか。

A 県市町村長会議においても訴えている。本来、国が全額負担するべきと考える。

LED防犯灯設置の
申請増加

Q 地域防犯対策推進費としてLED防犯灯設置に100万円計上されている。地区に複数の設置は可能か。

A 年度当初115灯の予算であった。申請数の増加に伴い、

適切に対処していく。

入善統合保育所
小学校隣接地で検討

Q 入善統合保育所建設事業の基本設計委託料が計上された。

検討委員会が1回開催されただけだ。性急ではないか。

A 1小学校下1保育所を整備するものだ。入善小学校に隣接する場所で検討中だ。現在の南部保育所の敷地だけでは面積が不足する。平成27年度内に基本的な方向性を固め、地権者に合意を得ていきたい。

個人情報の流出を
防げ

Q 町個人番号の利用に関する条例の制定について、町民から個人情報流出の不安の声が聴か



現在の南部保育所

れる。どのような対応をしていくのか。

A 厳正に適切な取り扱いをしていく。

固定資産税不均一課
税に関する条例とは

Q 固定資産税の不均一課税に関する条例の対象となる企業とは。

A 本社機能の拡充も含め、経済効果が認められる企業だ。条例制定後、県が計画

を認定した企業が対象となる。

こんな意見も

●マイナンバー制度の
前講座が分かりやすく好評だ。各地区で実施してみてもどうか。

● ● 常 任 委 員 会

産業教育 常任委員会

コミュニティ施設
の太陽光発電設備
を設置

Q コミュニティ施設整備
備事業費として、太
陽光発電設備設計業務委
託費を計上している。
その事業の内容は。

A 飯野・横山コミュニ
ティ施設で、太
陽光発電設備の設計委託
費として、320万円を
計上している。
平成28年度で、両施設
の太陽光発電設備の設置
を予定している。



深層水施設周辺のイベント

深層水仕込力キの
PRを支援

Q 海洋深層水活用推進
事業費を計上してい
るが、目的は。

A 3月12日、にゅうぜ
ん深層水かき祭りを
予定しており、イベント
の補助として50万円を計
上している。

炭焼き用の七輪を20個
購入する。また、漁協や
日本かきセンターなどで
イベントの実行委員会を
立ち上げる予定だ。

深層水仕込力キが入善
町の特産品となるように
PRを行い、イメージの
定着を図るためにも必要
と考える。

入善新幹線ライナー
の運行を民間へ移管

Q 公共交通運輸対策事
業費を計上している

が、事業の内容は。

A 新幹線アクセス
路線用バス
(入善新幹線ライ
ナー) 運行委託料
として266万円
を計上している。

当初予算では、
1日の平均乗車人
数を40人と見込ん
でいたが、23人と
下回ったため、運
賃収入の差額補正を行っ
た。

Q 入善新幹線ライナー
運行の補助金とは。

A 新幹線ライナーの試
験運行が3月13日
終了する。14日から民間
事業者に移管されるため、
31日までの18日間の運行
料を町が補助する。
そのため68万円を補助
金として計上している。



民間へ移管予定の新幹線ライナー

こんな意見も

● 2つのイルミネーショ
ン事業を統合して、11月
下旬には、点灯できるよ
うにするべきだ。
また、うるおい館の壁
面を利用するなど、立体
的デザインを考えてはど
うか。

第6次入善町総合計画の前期が終了するが総括は
町長 ハード整備を中心に進め
目標はおおむね達成され町民の6割が満足



中瀬 範幸 議員（会派アクセス）

問 第6次前期総合計画は27年度で終了する。

目標の達成状況と課題は何か、総括せよ。

笹島町長 健全財政を第



第3期大規模改造予定の上青小学校

一に考え、大型のハード整備を中心に進めた。おおむね総合計画の基本理念に沿って事業が進捗したと考える。

日本かきセンターの立地や企業への支援により、働く場の確保を図った。

また、こあら保育所、さわすぎ保育所の整備や、消防防災センターと各地区コミュニティ施設の整備を進め、地域活性化にも取り組んだ。

さらに、老朽化した学校施設の大規模改造など教育環境の整備も進めた。目標の指標はおおむね達成され、住民調査では約6割が満足と回答している。

しかし、人口が目標の2万7千人を下回り、後期計画への大きな課題である。

平成28年度予算編成の考え方を示せ

「ストップ人口減少」予算の重点化を図る

問 町の総合戦略である「ゆうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略とどう連動させ、28年度予算編成を構築するのか、考えを示せ。

町長 総合戦略の最大テーマは「ストップ人口減少」であり、最も予算の重点化を図らなければならぬと考える。

「出会い」と「産みたい」

をかなえ「育てたい」を支えるため、「結婚・妊娠・出産・子育て」において、切れ目のない支援を考えている。

予算編成の過程でしっかりと具体化した。

28年度は入善統合保育所整備や上青小学校第3期大規模改造、小学校のエアコン整備、中央公園の改修などを予定したい。

園家山周辺を整備し
来訪客を町内観光地へ
深層水施設周辺整備を
中心に長期計画で進める

問 園家山周辺を整備し、海洋深層水施設や入善牡蠣ノ星、ウーケなどへの観光客をルートでつなげよ。

さらに、町内観光地への誘客を図れ。

梅津副町長 園家山周辺整備では、湧水・親水拠

点、地域活性化・交流拠点、レクリエーション拠点などにゾーン分けし計画的に進める。

海洋深層水施設周辺と結ぶ道路建設については、長期的な計画の中で位置づける。

杉沢の沢スギ、発電所美術館、舟見山などへのルートづくりには、レンタサイクル、観光タクシーなども検討したい。

老人福祉センターの
活用を図り施設更新を
施設のあり方について
十分検討したい

問 老人福祉センターが老朽化し、また交通アクセスが悪い。活用拡大を図り、施設更新の考えは、小堀健康福祉課長 施設のあり方について、十分に検討したい。

減り続ける町民所得をどう引き上げるのか
町長 17年間で39万円下がった
総合対策で引き上げたい



企業で働く人々

問 今年の総務省の家計調査では、消費支出は9月・10月と2カ月連続で後退している。入善町の勤労者所得はどうなっているのか。

町長 給与所得は平成9年には一人当たり323万円だったが、26年には284万円であり、39万円、12%減少している。

問 役員職員の給料も18年間で78万円も減っている。町は、にゆうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略を策定したが、実際にはアベノミクスの失敗で地方は疲弊している。

町内企業の親会社に下請け単価の改善を申し入れるとともに、町職員の処遇改善も行うべきだ。
竹島企画財政課長 企業誘致や支援、農漁業、商

業の活性化を図り、総合的に町民の所得を上げていきたい。

介護施設が経営困難 介護報酬を元に戻せ 経営は安定している 施設の動向を注視

問 4月から施設に支払われる介護報酬が引き下げられ、事業所経営は深刻だ。経営の悪化から職員待遇の改善が進んでいない。

職員不足が原因で町内の特養と老健施設でも40床のベットが使われていない。
介護報酬を元に戻すよう国に働きかけるべきだ。

健康福祉課長 報酬引き下げは施設運営に少なからず影響を与えているが、安定性は保たれている。まだ廃業した施設はない。施設の動向を注視していく。

民有地のマツクイムシ被害対策に町の支援を 県や近隣市町と相談し 検討していく

問 園家山のマツクイムシ被害が広がっている。現状では民有地への支援策はないとのことだが、黒部市は民有地でも1件5万円の補助がある。制度がないのであれば作るべきだ。
窪野建設課長 県や近隣市町と相談して対策を検討したい。

現状のまま必要最小限の経費と人員で

問 7月末から町営バスが1台になった。新たに取組んだデマンドタクシーと合わせても利用者が3割近く減っている。

住民からは「バスはいつでも乗れたのに不便になった」との声を聞く。
芦崎、横山地区へのバスを復活すべきだ。
デマンドタクシーも住民の声に答えて30分前までの予約や朝8時台の運行など、改善すべきだ。
梅澤キラキラ商工観光課長 利用者からは便利になったと聞いている。
必要最小限の人員と予算で現行のまま行いたい。



井田 義孝 議員（日本共産党）



町職員の研修

職員の専門性強化に向けた取組みの現状は 総務課長 職員のキャリア開発を計画的に支援したい



本田 均 議員

問 若手職員のキャリア形成に向けた取組みについて、現状と内容は。

神子沢総務課長 町では、多様化した住民ニーズと

行政課題に柔軟かつ的確に対応するために、「職員人材育成基本方針」を策定した。

その方針に基づき、職場内・職場外研修の実施に努めている。

職員の成長のためには、職員が問題意識、危機意識、当事者意識を持って意欲的に仕事へ向き合うことが必要だ。

また、モチベーションを高めることで、自発的にキャリアを形成していくことが重要であると考えている。

一方、町では、職員が主体的な意識を持って、仕事と向き合えるような仕組みを作っていくたい。

特に、若手職員の専門的知識や技術の習得を目的として、研修機関への派遣を継続的に実施する。

職員のキャリア開発を計画的に支援していく。

小人数指導教育体制の現状と取組みは
小中学校に非常勤講師を配置

問 小人数指導教育体制の現状と取組みは。

池原教育長 1人の教師が担当する児童生徒の人数が少なくなることで、1人ひとりの学習状況に応じた指導が可能となる。学習効果が高まり、

学習内容の定着に効果的であると考えている。

形態としては、ティームティーチング、少人数指導、習熟度別指導などがある。

町内の小学校には、臨任講師が1人と非常勤講師3人が県の予算により配置されている。

また、中学校においては、県の予算措置はないが、理科の授業を支援するため、非常勤講師1人を配置している。加えて、数学、理科、英語の学習に少人数指導を取り入れ、きめ細かな指導ができるように工夫をしている。

今後ともより一層教育効果を高め、児童生徒一

人ひとりの学力向上につなげていきたい。

学校施設の管理状況は
適正な維持管理に努める

問 学校施設における安全点検や、メンテナンスの現状は。

教育長 桃李小学校以外の7校は、全て20年以上経過しており、順次、大規模改造事業に取り組んでいる。

学校施設の適正な維持管理を行うとともに、児童生徒の安全確保と危機管理に努め、利便性や安全性に留意していきたい。

「深層水仕込カキ」や「入善牡蠣ノ星」で
食と観光の連携を
町長 新幹線開業効果を最大限に生かし
地域活性化につなげる

問 深層水仕込カキを活用した入善牡蠣ノ星の開業は、通年の町特産品の誕生といえる。この観光資源と施設の魅力をいか



深層水仕込カキのレストラン

に発信していくのか。
町長 入善牡蠣ノ星では、10月末までに約9千5百人の来客があった。新幹線開業効果を観光

振興に最大限生かすためにも深層水仕込カキを地域経済活性化につなげることが重要である。本年度実施するにゆづん深層水かき祭りなど、四季折々のイベントの中で積極的にPRしていく。また、「食」と「観光」を効果的に結びつけ新たな人の流れを作っていきたい。

問 人口減少に伴う空き家対策は
所有者の意向調査を踏まえて対策を

き家問題が深刻化しつつある。基本的な対策をどう考えているのか。
広く地域住民に対し、周知させる取組みが必要と考えるがどうか。
米田住まい・まちづくり課長 調査の結果、町内に681戸の空き家がある。今年度中に所有者へ意向調査をし、速やかに空き家対策計画を策定する。地元区長と地域住民が危険な空き家の情報を共有し、増加傾向にある空

き家に対し広く周知を図っていく。
問 空き家活用対策として、国の事業の「地域おこし協力隊」を受け入れ

ではどうか。
企画財政課長 事業の受け入れは、地方にとつて、移住・定住の促進策としても効果が見込まれる。町としても検討していきたい。
国道8号上野・柗山間早期整備を重点要望として国に強く働きかける

になっているか。
建設課長 今年度より用地測量と物件調査が実施されており、来年度以降に用地や物件移転補償の交渉に入る。

工事時期については、用地補償の進捗状況を考慮しながら判断する。事業促進については、国交省や北陸地方整備局などへ重点要望として強く働きかけている。基本設計は車道片側2車線の4車線で、両側に歩道を含め、総幅員28mの計画だ。現在の約2倍の道路幅となる。国との連携や調整を密にして早期整備に努力する。



田中 伸一 議員



おいしい入善産コシヒカリ

町の農家はTPPに新たな不安と不満 町長 全国町村会の特別決議内容の実施を 農林水産大臣に要請する



五十里 国明 議員

問 生産者は「猫の目」と揶揄されるほど、頻繁に変わる政策に翻弄されながら農業を守ってきた。その生産者から、TPP

に新たな不安と不満が生じている。

町長も参加した全国町村会で、農林水産業の振興策実施を国に求める特別決議が採択された。

TPPをどのように理解して採択に応じたのか。

町長 TPPの大筋合意は、食料自給率の低下や米価などへの多大な影響が懸念される。

農林漁業者が希望をもって経営に取組めるよう、森山農林水産大臣に特別決議の内容の実施を要請した。

振興施策のうち、町の主要作物の米については、新設された国別枠の買い上げに対して、万全の財

政措置と経営所得安定対策などを求めた。

町として、国の動向を注視し関係機関と連携を図り強く働きかける。

「地方版総合戦略」の啓蒙活動は

ホームページで公表

問 政府は、県内15市町村を含む766自治体が「地方版総合戦略」の策定をしたと発表した。

町は、ストップ人口減少の実施に様々な取組みをしているが、「広報入善」以外の啓蒙活動はあるのか。

企画財政課長 12月の

「広報入善」で、町の地方版総合戦略を発表した。町ホームページでも公表している。

今後も町が発展するために、「働き」「結ばれ」「産み」「育てる」という好循環を実現し、45年後の人口2万人達成に向けて、意識を共有していきたい。

米コンテスト入賞者への対応は

表彰状を授与する

問 今年度産米の一等比率が昨年を3・8ポイント上回り、18年振りに90%を超えた。

さらに、もう一つの目

標である食味ランキングで昨年に続いて「特A」を獲得する事が重要と考える。

今年度開催された「みな穂お米コンテスト2015」での入賞者に町として表彰してはどうか。

真岩がんばる農政課長

このコンテストはJAみな穂と、県や町などで構成する黒東地域農業技術者協議会が今年初めて実施した。

米の食味と、みな穂産米全体のブランド力向上を目的としている。

上位入賞者には表彰状を授与するほか、審査結果を全ての応募者に通知する。

シルバー人材センターの
存在意義をどのように考えるか
町長 地域社会を支える重要な組織として
期待している



シルバー人材センターの除草作業

問 現在、シルバー人材センターでは、登録会員数の減少により、町民からの幅広い要望や依頼の一部を受託できない現状

であると聞く。

町は、シルバー人材センターの存在意義をどのように考えているか。

町長 シルバー人材センターは、平成2年に設立され、現在、公益社団法人として運営されている。

高齢者が長年培ってきた知識、経験、技術を生かし、地域社会に貢献することを存在意義として今日に至っている。

近年、民間事業所の定年延長や継続雇用制度の導入で新規加入者が減少している。

登録会員数は、平成17年度の415人をピークに平成26年度では316

人と26%の減少であり、懸念すべき現状にある。

また、会員の減少に比べると、受託件数や契約額減少が少ないため、会員一人当たりの作業負担が増加している。

しかし、今後の少子高齢化や核家族化が見込まれる中、シルバー人材センターには、地域社会を支える、より重要な組織となっていくことが期待されていると考えている。

問 今後、シルバー人材センターに対して、どのように支援していくのか。

町長 シルバー人材センターの担う役割は非常に

大きいと考えており、町民の福祉向上を目指すパートナーとして連携を密に支援したい。

休日当番医制の今後は
存続に向けて委託体制
の検討を重ねたい

問 本町における日曜日の当番医制が今年度で廃止されると聞くが事実か。
健康福祉課長 本町の休日在宅当番医制は、町医師会との委託契約により、10の医療機関の協力により、年間74日前後開設している。

受診状況は、過去3カ年平均で、年間1042人で、1日平均14人である。各医療機関の先生方に

は、当番医以外にも各種の予防接種や学校医、介護認定審査員など多岐にわたる最大限の協力をお願いしている。

11月4日に黒部市民病院に一次救急センターが開所した。センターでの町医師会による夜間の診療回数が増加する。そのため、大多数の医師が休日当番医への協力が困難となる理由から、今年度をもって当番医制を廃止したいと医師会からの申し出があった。

町としては、地域の医療、介護、福祉など安心・安全な町づくりのため、この制度を継続して頂けるよう医師会に粘り強くお願いするとともに、存続に向けた委託体制の検討を重ねていきたい。



野島 浩 議員



稲刈りに励む農家

町長 米価下落の影響が大きいと考える 農業収入が18年で60%も落ち込んだ要因は何か



松田 俊弘 議員

問 EU諸国や米国は、麦やトウモロコシなどの価格が下がれば、買い支えなどを行っている。しかし、日本政府は米

価が暴落しても、対策を取ってこなかった。

町の農家全体の収入は、平成6年から18年間で37億円から15億円と、60%下がっている。

その要因は何か。

町長 この間に米価は約33%落ち込んでいることの影響が大きく、資材価格上昇の影響もあると考える。

問 TPPに町の農家も不安を抱いている。

国会で議論されていないのに、政府がTPP関連政策大綱をつくるなどは、国民無視ではないか。

町長 具体的な支援内容は示されず不透明だ。国の動向を注視し、必要に

応じて対応する。

問 今年度の合口用水の水利権の見直しで、国交省は大幅削減の動きを示していた。

地下水涵養のためにも、

大幅削減は許されないと言ってきたが、結果はどうなったのか。

建設課長 農地転用によるかんがい面積の減少は2・6%だが、用水量は最大でも約1・1%の微減にとどまった。

臨時保育士の処遇改善を早急に図れ
賃金体系の見直しを図りたい

問 町の保育士の約3割

が臨時職だが、臨時保育士の年収は、5年間勤めた人で正職より約86万円低く、10年勤務では約144万円も低い。

子どもの命と健康を預かる現場で、このような格差が許されるのか。

臨時保育士を正職として採用するなど、正職の数を増やし、臨時職の待遇改善も図るべきだ。

町長 臨時保育士の賃金は、勤続年数で3段階に設定しているが、これを細分化するなど、見直しを図りたい。

問 夏休みだけの学童保育の受け入れは認められていない。また、祖父母が毎日子どもの面倒を見るのも大変だ。

子どもが安全に遊べる場として、桃李小学校下に児童館を設置すべきだ。

清田結婚・子育て応援課長
新たな児童館は、維持

管理などを考慮すると、現状ではなかなか困難。

入高農業科が入善乙女キクザクラ増殖に成功
技術を高く評価し
支援を検討する

問 町は、入善高校農業科に新種の入善乙女キクザクラの増殖を依頼し、同校では40本ほど増殖に成功している。

今後、この入善乙女キクザクラをどう扱うのか。また、素焼きの植木鉢や、培土が必要となっており、町が支援すべきだ。

岩田教育委員会事務局長
同校の培養技術を高く評価する。地元に貢献したいという熱意も感じる。今後、学校や公共施設への移植なども考えている。どのような支援が必要か検討していく。

結婚支援の成果と今後の婚活活動の予定は
町長 婚活イベントで5組のカップルが成立
3月に2回目のパーティーを予定



婚活サークル「小布施バスツアー」

問 当町では様々な結婚支援を行なっているが、現時点での成果は。また、今後の婚活活動予定は。

町長 町では、「それ行け！結婚プロジェクト」と銘打ち、結婚支援事業に取り組んでいる。

まず第1回目の婚活パーティーを入善牡蠣ノ星で開催した。募集人数を超える応募があったため、当日は、独身男女27人ずつ計54人で盛大に開催した。最後にカップリング投票を行い、5組のカップルが成立した。

婚活サークルとして、男性7人、女性8人が参加し、小布施バスツアーを実施した。今後、そば打ち体験や鍋パーティーを行い、最終回にカップリング投票を行う。また、2月に独身男性

を対象に、コミュニケーション力を高めるためのスキルアップセミナーや、独身者の親の婚活講演会の開催を予定している。

3月には今年度2回目の婚活パーティーを入善牡蠣ノ星で開催予定だ。お見合い会員を町内外から広く募集するためのPR費などが必要になる。今定例会で事業費の増額補正を上げした。

定住促進住宅を整備しないのか

住まい・まちづくり計画見直しの中で検討

問 西町住宅のような定住を促進する整備は、今後行わないのか。

住まい・まちづくり課長

西町定住促進住宅は多くの申し込みがあり、非常に人気が高い。

現在の入居者は、単身世帯が過半数を占め、残りは夫婦二人世帯と、子育て世代が同数となっている。また、町外からの転入世帯は全体の約4割である。

今後の住宅施策の課題としては、老朽化の著しい新柵山住宅や舟見住宅のあり方だ。

また、雇用促進住宅「くぬぎやま宿舍」については、平成33年度までに譲渡または廃止の予定で進められている。

これらの課題と住宅事情の変化に対応すべく、今年度「住まい・まちづくり計画」の一部を見直

奨学金の返済を無くしてはどうか

返済のあり方を検討していきたい

問 奨学金を受けた大学生が卒業後、当町に帰ってきた場合、その返済を求めないということを考えてはどうか。

教育委員会事務局長 大学生を対象とした奨学金として、在学の期間、月5万円ずつを無利子で貸与している。

町としても、Uターンを促すという面で、返済のあり方や財源としての基金の確保について、今後検討していきたい。



中瀬 淳哉 議員



賑わいが求められる中心市街地

高齢者が生きがいを感じる町づくりと 市街地活性化対策は 町長 街なかサロン機能を回復するため 商店街の活性化を図る



五十里 忠茂 議員

問 まちなか屋の閉店に伴う買い物弱者への対応は。

町長 近年全国で、地域の事情を反映した、食料・

日用品の移動販売や宅配サービスなどの無店舗販売が行われている。また、地元商店街の店主や団体、農業者などが担い手となつて、商業活動を進める動きも広がっている。平成25年5月に、より利便性の高いJ・Aみな穂あいさい広場が誕生したことから、まちなか屋は、今年3月をもって閉店した。

問 市街地活性化対策は取られているのか。

町長 町では、平成19年度から、空き店舗などを活用して新たにチャレンジショップを経営する人を対象とした「起業チャレンジ応援事業」を行っている。

中心市街地の活性化と商店街の魅力向上を目的としている。空き店舗の改修などの費用に対して、投資額の3分の1、限度額100万円を補助するものだ。

さらに平成26年度から既存店舗の魅力向上を図り、街なかの賑わいを創出することを目的に、「元氣な商店街再生事業」を創設した。

この事業は、商店などの新築や買取り、リニューアルなどに対し、投資額の3分の1、限度額100万円を補助するものだ。

また、店主の親族な

どが後継者として営業を引き継ぐ際の設備投資に對しては、補助率2分の1、限度額200万円に引き上げている。それぞれ、14件の利用があった。

問 街なかサロンを設けてはどうか。

町長 高齢者などが気軽に集まり交流できる場として、街なかサロンを設置することは意義あるものと考えられる。

以前は、商店や商店街がその役割をはたしていたが、商店の減少とともにその機能が低下しているのが現状と考える。

街なかサロンの機能を回復するため、各店舗の店主などが講師を務める

「まちゼミ」や、すぐろくゲーム形式で商店を回るイベント「商店街すごろく」などを始めたところであり、この取り組みを支援していく。

君島踏切改良の進捗状況は

少しでも早く整備が進められるよう努める

問 主要地方道入善朝日線の君島踏切改良計画は。

建設課長 地元や学校関係者から、強い要望を受けている。

町としても、県に要望してきた。平成26年度から調査に着手し、今年度までに概略設計を進めることになった。

臨時議会
10月28日

**新しい正副議長並びに
委員会メンバー決まる**

議長 鬼原 征彦 副議長 佐藤 一仁



このたび、議員各位のご推挙をいただき議長の重責を担うこととなりました。誠に身の引き締まる思いであります。町を取り巻く課題は、急速な少子高齢社会の到来と、人口減少問題であります。子育て支援を重点として、社会的弱者の皆さんが地域社会の中で暮らせる、支え合いのまちづくりを進めて参ります。

また、基幹産業である農業、農村が衰退しないよう町民の皆さん、議会、町当局と共に考え、地域社会の進展に向け努力していく所存です。

皆様の御支援とご協力をお願いいたします。

◆産業教育常任委員会

- 委員長 松澤 孝浩
副委員長 中瀬 淳哉
委員 谷口 一男
委員 山下 勇
委員 佐藤 一仁
委員 五十里 国明
委員 井田 義孝

常任委員会

◆総務常任委員会

- 委員長 野島 浩
副委員長 田中 伸一
委員 松田 俊弘
委員 中瀬 範幸
委員 鬼原 征彦
委員 五十里 忠茂
委員 本田 均

特別委員会

◆並行在来線・交通網
対策特別委員会

- 委員長 山下 勇
副委員長 本田 均
委員 松澤 孝浩
委員 佐藤 一仁
委員 五十里 忠茂
委員 田中 伸一
委員 井田 義孝

◆環境・下水道
対策特別委員会

- 委員長 中瀬 範幸
副委員長 松田 俊弘
委員 谷口 一男
委員 鬼原 征彦
委員 野島 浩
委員 五十里 国明
委員 中瀬 淳哉

議会運営委員会

- 委員長 谷口 一男
副委員長 中瀬 範幸
委員 山下 勇
委員 松田 俊弘
委員 松澤 孝浩
委員 野島 浩

◆議会広報編集
特別委員会

- 委員長 佐藤 一仁
副委員長 中瀬 淳哉
委員 松澤 孝浩
委員 野島 浩
委員 本田 均
委員 井田 義孝

新川広域圏
事務組合議会議員

- 議員 鬼原 征彦
議員 谷口 一男
議員 松澤 孝浩

新川地域
介護保険組合議会議員

- 議員 鬼原 征彦
議員 松田 俊弘
議員 中瀬 範幸

新川地域
消防組合議会議員

- 議員 鬼原 征彦
議員 佐藤 一仁
議員 野島 浩

富山県後期高齢者医療
広域連合議会議員

- 議員 山下 勇

監査委員

- 中瀬 範幸

農業委員

- 松澤 孝浩

入善の祭り

入善ふるさと 七夕まつり

入善町商工会では、明治100年の節目にあたる昭和43年に、地域活性化の取り組みの一環として、入善町民の誰もが親しみ、参加できる「花の入善音頭」を製作した。



当時の国民的歌手であった三波春夫氏に唄を、踊りの振り付けを花柳日出造氏

に依頼した。

この「花の入善音頭」の製作を機に始まったのが入善七夕まつりである。

後に名称を入善ふるさと七夕まつりと改称し、入善町長を委員長とした実行委員会組織体制で開催している。

現在は8月5日〜7日にかけて多彩なイベントを実施している。

かつてはミス織姫コンテストも

かつての七夕まつりは、200本以上の七夕飾りが商店街を彩り、またミス織姫コンテストが開催されるなど、活気と熱気で溢れていた。

ミス織姫コンテストは、昭和56年に商工会青年部が県内に先駆けて実施し、好評であった。選ばれたミス3人は、商店街をパレードし、町民の皆さんから声援を受けた。

その後一年間、入善町のPR活動に参加し、活躍した。

一方、各町内の七夕飾りは、東町から二十四軒町にかけて、また、その他の町内においても飾られ、商店街の夏の夜空を彩った。

現在の七夕まつり

第46回目となった平成27年の入善ふるさと七夕まつりでは、初日の「入善音頭街流し」を皮切りに、2日目には子どもたちを中心とした「キッズダンス」が行われた。

最終日の7日には横山出身の佐藤大樹さんがコンビを組む「クマムシ」の漫才ショーや沢田美紀さんのライブが行われた。さらには、ジャンポール三世のゆるキャラグランプリ総決起集会も行われ、これまでにない入場客となった。

商店街でも、趣向を凝らしたイベントが行われた。商工会青年部による「恐怖のウオータースライダー」では、大勢の子どもたちが勢いよくプールに飛び込み、大きな水しぶぎと楽しい歓



声を挙げていた。

商工同友会では、初めての試みとなるイルミネーション事業や「ジャンポール三世の夏休み絵画展」を開催した。

商工会女性部では、リサイクルバザーや飲食コーナーでまつりを盛り上げた。

未来に向けて

現在では、店主の高齢化や後継者不足により、七夕飾りも減少してきた。

全町民の参加で、より楽しい七夕まつりを目指していきたいものである。

編集の窓

新年のお慶びを申し上げます。

平成28年が、町民の皆様にとつて、災害のない安心して暮らせる年になりますよう、また、世界各地の紛争やテロ事件が申去る年になって、平和が戻って来るよう願っています。

8月5日開幕のリオデジャネイロ五輪では、入善町生まれで水球競技の志賀選手のほか、登坂選手、谷井選手など、富山県選手の活躍を見たいものです。

今回から、新しくなった編集委員で楽しい誌面づくりに励みます。

皆さんのご愛読を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会

議長	鬼原 征彦
委員長	佐藤 一仁
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松澤 孝浩
野島 浩	
本田 均	
井田 義孝	